

関西病虫害研究会第93回大会プログラム

日時:2011年5月24日(火) 9:30~16:00

会場:じゅうろくプラザ 5階 中会議室(1)・(2)

受付:5階 中会議室(2) 前

講演時間:1講演15分(1鈴10分、2鈴12分、質疑応答3分、3鈴15分)

講演方法:パワーポイント2003(各自操作)

時間	虫害分科会:中会議室(1)	病害分科会:中会議室(2)
9:30~	受 付	
10:00	座長:杖田 浩二 1. 三重県におけるミナミアオカメムシの分布拡大 ○鈴木 賢・西野 実・下 里緑*(三重県農業研究所・*三重県中央農業改良普及センター)	座長:窪田 昌春 1. 野菜類灰色かび病に対する各種殺菌剤の特性評価 ○鈴木啓史・黒田克利・湊 裕史*(三重県農業研究所・*津農林水産商工環境事務所)
10:15	2. 大阪府のクリ園で大発生したオオミノガと本種へのカイコクロウジバエの初寄生記録 ○那須義次・舘 卓司*・梅澤 類・西濱絢子・田中寛** (大阪府病虫害防除所・*九州大学・**大阪府環境農林水産総合研究所)	2. トマト葉かび病に対する数種殺菌剤の予防効果 ○渡辺秀樹・堀之内勇人(岐阜県農業技術センター)
10:30	3. 梅害虫ノコトガリキリガに対するモスピラン水溶剤の防除効果 ○天野睦大・清野宏行・正木李恵子・山本敦司(日本曹達(株)榛原フィールドリサーチセンター)	3. トマトかいよう病及び青枯病に対する乳酸菌製剤の発病抑制効果 ○津田和久・小坂能尚・梅村賢司*・三富正明*・辻 元人**・久保康之** (京都府農林水産技術センター生物資源研究センター・*明治製菓(株)・**京都府立大学)
10:45	4. 殺虫剤の発泡散布によるキャベツおよびナス害虫の防除効果 ○柴尾 学・森川信也・安達鉄矢・嘉悦佳子・山崎基嘉・磯部武志・田中 寛(大阪府環境農林水産総合研究所)	4. 栽培環境で異なる病徴を呈するトマトかいよう病菌の病原性について ○川口 章・谷名光治(岡山県農林水産総合センター農業研究所)
11:00	座長:国本 佳範 5. アセタミプリド液剤高濃度薬液の枝幹散布によるキョウチクトウアブラムシの防除効果 ○田中 寛・谷古勝彦*・田中豊一*・柴尾 学(大阪府環境農林水産総合研究所・*(株)ダスキン)	座長:鈴木 啓史 5. 土壌中ショウガ根茎腐敗病菌の生物検定に適した作物の選抜 ○衛藤夏葉・安井洋子*・島津 康(和歌山県農林水産総合技術センター農業試験場,*果樹試験場かき・もも研究所)
11:15	6. 岐阜県内におけるヒメビウンカの薬剤感受性 ○妙楽 崇・杖田浩二(岐阜県農業技術センター)	6. イチゴ炭疽病菌のバルク法によるPCR検定の現地育苗圃での適応性 ○平山喜彦・西崎仁博・岡山健夫(奈良県農業総合センター)
11:30	7. 愛知県におけるナシマルカイガラムシ歩行幼虫の発生消長とJPP-NETの有効積算温度計算シミュレーションを用いた発生予測 ○石川博司・加藤修平*・小木曾久志**・恒川健太(愛知県農業総合試験場・*愛知県豊田農林水産事務所・**愛知県西三河農林水産事務所)	7. ダイズモザイクウイルス罹病黒大豆子実を観られる着色不良および変形とフェノール物質の蓄積 ○木村重光・川戸直子・岡留和伸・天野 久(京都府農林水産技術センター農林センター)

11:45	8. フェロモントラップおよび予察灯によるハイマダラノメイガの誘殺消長 ○砂池利浩・柴尾 学*・梅澤 類・西濱絢子・那須義次・田中 寛*(大阪府病害虫防除所*・大阪府環境農林水産総合研究所)	
12:00 ~13:30	昼 食	
13:30~ 14:00	総 会(5階中会議室(2))	
14:00	座長:西野 実 9. フェロモントラップによる発生予察を活用したカキノヘタムシガの防除対策 ○藤田博之・脇坂 勝(奈良県農業総合センター果樹振興センター)	座長:津田 和久 8. 三重県におけるルリジサ菌核病(新称)の発生 ○窪田昌春・太田 泉(野菜茶業研究所)
14:15	10. フレンチマリーゴールドの植栽が露地ナスにおけるクモ類の発生量におよぼす影響 ○井村岳男・神川 諭(奈良県農業総合センター)	9. 直売農産物の農薬使用実態 ○上山 博(京都府病害虫防除所)
14:30	11. 都市内の露地有機ナスにおける害虫および土着天敵の発生消長 ○浦野桂子・小宅貴美子・長澤香織(京都府京都乙訓農業改良普及センター)	10. ホウレンソウベと病菌レース8に対する抵抗性品種の探索 ○堀之内勇人・渡辺秀樹・浅野雄二*・五十川悦司**・山内智史*** (岐阜県農業技術センター*・岐阜県中山間農業研究所**・岐阜県岐阜農林事務所***野菜茶業研究所)
14:45	12. スワルスキーカブリダニ放飼による促成ナスのミナミキイロアザミウマとタバココナジラミの防除 ○三宅律幸(愛知県農業総合試験場)	
	虫害分科会1:中会議室(1)	虫害分科会2:中会議室(2)
15:00	座長:三宅 律幸 13. 遺伝的に飛翔能力を欠くナミテントウに与える気門封鎖型殺虫剤の影響 ○田中雅也・八瀬順也・松原由加里(兵庫県立農林水産技術総合センター)	座長:柴尾 学 11. 万願寺とうがらしの夏秋施設栽培におけるアブラムシ類防除のためのショクガタマバエを利用したバンカー法の実証試験 ○安部順一郎・熊倉裕史・矢野栄二(近畿中国四国農業研究センター*・近畿大学)
15:15	14. ナミテントウ飛翔不能系統の株間移動促進資材(渡り線)の検討 安達鉄矢・○田中 寛・柴尾 学・世古智一*・三浦一芸*(大阪府環境農林水産総合研究所*・近畿中国四国農業研究センター)	12. アカメガシワクダアザミウマとタイリクヒメハナカメムシを用いた甘長ピーマンのアザミウマ類防除 ○勝山直樹・櫻井民人*・津田新哉**(岐阜県農業技術センター*・東北農業研究センター**中央農業総合研究センター)
15:30	15. パック入り製剤によるミヤコカブリダニの圃場定着性 ○国本佳範・神川 諭・山中 聡*・遠藤智宏*(奈良県農業総合センター*・アリストライフサイエンス)	13. ホウレンソウケナガコナダニ被害におけるホウレンソウの品種間差異 ○安川人央・松村美小夜(奈良県農業総合センター)
15:45		14. ホウレンソウケナガコナダニを裸眼で数えることができる、黒く着色した乾燥酵母トラップ ○坂田 勲(岐阜県病害虫防除所)

○じゅうろくプラザ

◆交通のご案内



○研究会の会場(5階 中会議室(1)、(2))

